別紙１

ＩＣＴ活用工事（土工）計画書

〔　切土工1,000m3以上　および　盛土工500m3以上　〕

当該工事において、施工プロセスの各段階および作業内容において、ＩＣＴを活用する場合は、左端 のチェック欄に「レ」と記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施工プロセスの段階 | 作業内容 | 採用する技術番号（参考） | 技術番号・技術名 |
| □ | ①３次元起工測量 | □ | 土工 |  | 1　　空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量2　　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量3　　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量4　　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量5　　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量6　　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量7　　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量【メモ】河床等掘削がある場合は「音響測深機器を用いた起工測量」も適宜追加する。※採用する具体の技術は受注後の協議により決定する。※複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。 |
| □ | 付帯構造物設置工 |  |
| □ | ②３次元設計データ作成 |  |  |
| □ | ③ＩＣＴ建設機械による施工 | □ | 掘削工 |  | １ ３次元ＭCまたはMG建設機械 |
| □ | 盛土工 |  |
| □ | 路体盛土工 |  |
| □ | 路床盛土工 |  |
| □ | 法面整形工 |  |
| □ | その他（　　　　　　）　　　 |  |
| □ | ④３次元出来形管理等の施工管理（※右欄の技術番号5～8の出来形管理を選択した場合は、費用計上の対象外） | □ | 出来形管理（土工） |  | 1 空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理2 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理3　　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理4　　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理5　　ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理6　　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理7　　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理8　　施工履歴データを用いた出来形管理※複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。※「①３次元起工測量」で採用した技術と相違しても良い。※土工における出来形管理にあたっては、上記１～４を原則とするが、現場条件等により上記５～８の出来形管理を選択して面管理を実施してもよい。（※ただし、上記５～８の出来形管理を選択して面管理を実施した場合は「３次元出来形管理・３次元データ納品費用、外注経費等の費用」の対象外となるので注意すること。） |
| □ | 出来形管理（付帯構造物設置工） |  |
| □ | 品質管理 |  | １ ＴＳ・ＧＮＳＳを用いた盛土の締固め管理 |
| □ | ⑤３次元データの納品（※④右欄の技術番号5～8の出来形管理を選択した場合は、費用計上の対象外） | ①②④により作成した３次元データを、工事完成図書として電子納品する。 |

注 1) ＩＣＴ活用工事(土工)の詳細については、ＩＣＴ活用工事（土工）特記仕様書及び試行要領によるものとする。

注 2) 具体的な工事内容及び対象範囲については、契約後、施工計画の提出までに、発注者へ提案・協議し決定する。